

# 熊本地震への対応における 広域化の効果

第3回消防力の維持・強化のための消防体制の構築に関する検討会  
(令和5年3月27日)

熊本市消防局

# 熊本市消防局の紹介

## 概況（令和4年4月1日現在）

- 消防署所 1局6消防署15出張所2庁舎
- 職員数 定数 810人（実数805人）
- 消防予算 85億2,501万円（令和4年度予算）
- 車両施設  
ポンプ車（15台）  
タンク車（11台）  
救急車（31台）  
梯子車（6台）  
救助工作車（5台）  
化学車（1台）  
水槽車（1台）  
特殊災害対応車（1台）  
大型除染システム車（1台）  
特別高度工作車（1台）  
支援車 I 型（1台）他

## 災害件数（令和4年中）

- 火災 213件
- 救急 43,679件（過去最高）
- 救助 318件



# 旧高遊原南消防本部との広域化

## 広域化までのスケジュール

平成18年 県内の広域化の枠組みについて検討開始

平成20年 「熊本県消防広域化推進計画」策定  
 ・4ブロックに分けて広域化を推進  
 ・将来的には県一体体制を目指す

平成21年 中央ブロック消防広域化協議会を設置  
 [中央ブロックの4消防本部]  
 ①熊本市消防局 ②高遊原南消防本部  
 ③上益城消防本部 ④宇城広域連合消防本部

平成24年 上益城消防本部・宇城広域連合消防本部が協議会離脱

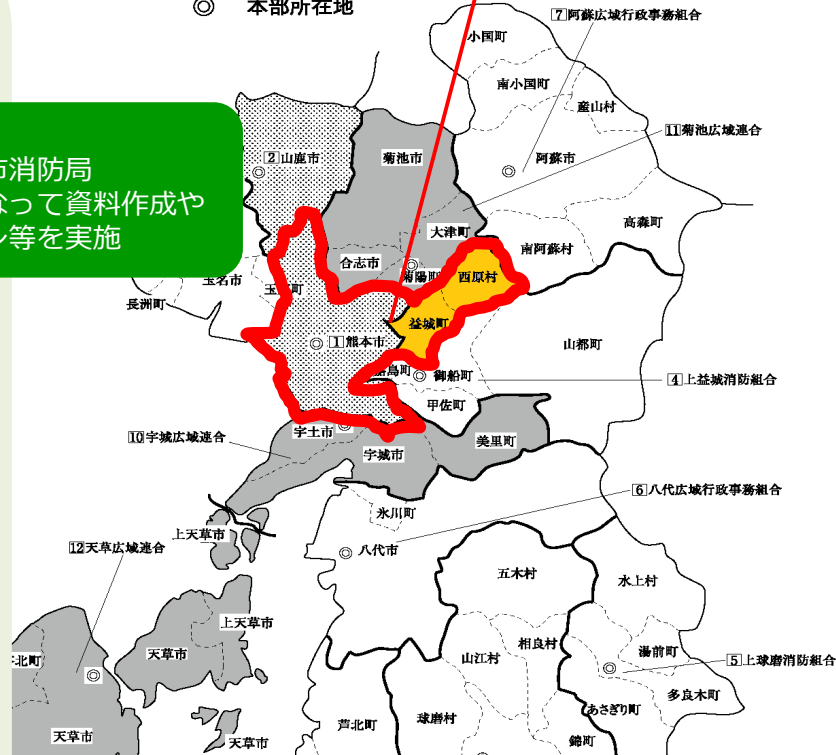
平成25年 「熊本県中央ブロック広域消防運営計画」を策定  
 ・広域化の効果や広域化後の消防の円滑な運営の確保に関する事項(全29項目)等 ⇒ [次ページ記載](#)

平成26年 益城町及び西原村の常備消防事務を受託

※県内で唯一広域化が実現

【会長】熊本市長  
 【事務局長】熊本市消防局  
 ※熊本市が中心となって資料作成やシミュレーション等を実施

- 凡 例
- 組合消防
  - 単独常備
  - 委託常備
  - 広域連合
  - ◎ 本部所在地
  - 旧高遊原南消防本部
  - 熊本市消防局



### 【各市町村の概況】

(令和4年4月1日現在)

	面積 (km <sup>2</sup> )	人口	世帯数
熊本市	389.53	734,361	306,170
益城町	65.67	33,554	12,620
西原村	77.23	6,989	2,449
計	532.43	774,904	321,239

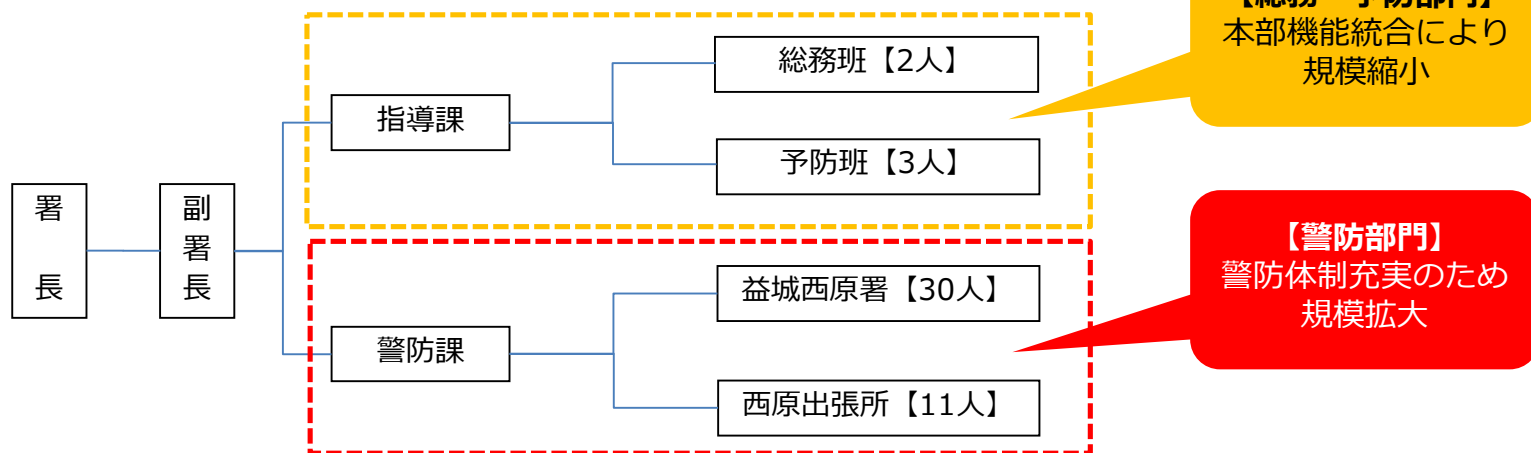
# 広域化後の消防の円滑な運営の確保に関する事項（全29項目）

1 広域化の方式	16 任用
2 広域化の期日	17 給料
3 消防本部の位置	18 諸手当
4 消防本部の名称	19 階級
5 消防本部の組織	20 教育、訓練、研修等
6 消防本部の権限	21 貸与物品
7 部隊運用等	22 消防施設計画
8 消防指令センター	23 通信施設
9 消防署の管轄区域	24 経費負担方法
10 消防署等の配置	25 財産の取扱い
11 消防署所の名称	26 消防団との通常の連携
12 勤務形態	27 消防団との災害時の連携
13 広域化後の定員	28 防災・国民保護担当部局との連携
14 採用計画	29 消防の組織及び運営
15 職員の配置	

# 益城西原地区の消防体制

## 組織

49人体制（前年比▲4人）（平成26年4月1日現在）



## 活動部隊の変化

### 広域化前（三交替）

#### 【高原南消防署】

ポンプ車	1台
救助工作車	1台
救急車	2台
計	4台

#### 【西原出張所】

救急車	1台
-----	----

**（8時間体制）**

合計5台

### 広域化後（二交替）

#### 【益城西原消防署】

ポンプ車	1台
救助工作車	1台
救急車	2台
計	4台

#### 【西原出張所】

ポンプ車	1台
救急車	1台
計	2台

**（24時間体制）**

合計6台

### 火災事案での出場計画（第1出場）

#### <広域化前>

3台

ポンプ車	1台
救助工作車	1台
救急車	1台

#### <広域化後>

7台

指揮車	1台
ポンプ車	4台
救助工作車	1台
救急車	1台

※ 4階以上は梯子車追加

# 広域化の効果等

## 広域化に対する懸念事項

### 懸念事項

- 熊本市の車両や施設の整備費用等に多額の費用を要するのでは？
- 消防に対する権限を失うため意見要望が通らなくなるのでは？



### 対応

- 個別経費と共通経費に区分  
⇒「経費負担の軽減」と「スケールメリットを活かした施設整備」を両立
- 消防事務の管理・運営に係る必要な協議を行うため、各市町村の首長及び議長からなる消防運営協議会を設置



消防運営協議会

## 広域化の効果

### 委託町村側

#### I 現場部隊の増強

- 本部機能統合による警防人員の拡充
- 西原出張所の強化（救急車稼働時間の拡大（8時間⇒24時間）とポンプ車の新規配備）
- 益城町西部地域の部隊増強（10分到達エリア内）
- 初動体制の強化  
建物火災（3台⇒7台） 4階以上：8台

#### II 災害規模に応じた対応力強化

- 相互出場（応援）体制の強化
- 災害規模に応じた部隊の追加投入

#### III 現場到着時間の短縮

- 「119通報～出場時間」と「出場～現場到着時間」の短縮

#### IV スケールメリットによるコスト削減

- 決算額 H25：5.9億円（広域化前）  
R3：4.8億円（▲1.1億円）

### 熊本市側

#### I 余剰人員の再配置による機能強化

- 本部機能統合による再配置  
旧高遊原南消防本部53名体制  
⇒ 事務委託後の益城西原地区49名（▲4名）

#### II 負担金によるコスト削減

- 益城町、西原村からの負担金によるコスト削減（消防救急デジタル無線や指令管制システムの整備費用等を含む）

#### III 境界付近における消防力強化

- 東区と益城町の境界付近における、相互出場による消防体制の強化



政令市消防本部として近隣市町村への  
広域的な貢献

# 旧高遊原南消防本部として熊本地震に対応した場合 (シミュレーション)

発災時刻：4/14 21時26分（前震）

## 広域化後（実際の対応）

番号	指令時刻	種別	発生場所	出場車両	人数
1	21:29	救急	益城町	救急車	3人
2	22:00	火災	益城町	ポンプ車×2 タンク車×4 指揮車 救助工作車 水槽車	30人
3	22:06	救助	益城町	救助工作車×2 タンク車 指揮車 救急車	16人
4	22:14	救助	益城町	救助工作車	5人
5	22:19	救助	益城町	救助工作車×3	28人

## 広域化前（シミュレーション）

出場車両	人数	待機者	通信員
救急車	3人	8人	1人
ポンプ車 タンク車	3人 3人	2人	1人
救助工作車	2人	0人	1人



※本来は5人で運用するべき車両



※4事案目以降は当番体制では  
対応不可能  
※非番対応には時間を要する

### 想定

#### 【保有車両】

ポンプ自動車2台・水槽付ポンプ自動車1台・救助工作車1台・救急車3台（非常用車両を含む。）

#### 【発生時刻】

4月14日 21時26分（夜間）※出張所は閉所

#### 【警防人員】

当番人員12人（消火隊4人・救助隊4人・救急隊3人・通信指令担当1人）

# 熊本地震における益城町及び西原村での活動結果

## 現場指揮

※期間：4/14 21時26分～5/14 8時00分

平成28年4月14日の地震発災直後から、益城町役場の合同指揮本部に「消防前線指揮所」を設置し、熊本市消防局の指揮隊を24時間体制で配置（旧高遊原南消防本部では指揮隊の配備なし）。

※配置期間：4月14日～16日（熊本市消防局の各消防署指揮隊を輪番で配置）

- 消防隊の現場投入の把握と調整
- 役場、警察、自衛隊との情報の一元化
- 熊本県消防相互応援隊（11消防本部）の指揮

## 災害発生状況

	件数	出動場所	出場隊数	出場人員
火災	1件	益城町・西原村から	4隊	13人
		熊本市から	5隊	17人
		(計)	(9隊)	(30人)
救急	423件	益城町・西原村から	309隊	927人
		熊本市から	114隊	342人
		(計)	(423隊)	(1,269人)
救助	56件	益城町・西原村から	28隊	142人
		熊本市から	56隊	198人
		(計)	(84隊)	(340人)
警戒	22件	益城町・西原村から	18隊	62人
		熊本市から	6隊	19人
		(計)	(24隊)	(81人)

## 総括

- 指揮隊や水槽車などの旧高遊原南消防本部には配備のなかった車両についても、熊本市消防局全体の車両・部隊を弾力的に運用することで、災害の状況に応じた必要な対応をとることができた。
- 益城町及び西原村からの119番通報は一括して熊本市消防局指令センターで処理し、熊本市災害対策本部の「消防局対策部」において情報を集約したことから、同地域の被害状況の把握及び熊本市域からの消防隊の投入などが迅速に行われた。
- 熊本市域のみならず熊本市消防局管内である益城西原地域でも広範囲に被災したが、熊本市消防局はその対応に奔走しながら、4月14日の発災から益城町及び西原村で発生した実災害に対し、全て対応した。（但し、119番通報に対するコールトリアージを実施するとともに、司令管制長判断で事前に定められた規定出場より出場台数を減じて対応した。）